

平成27年度 デマンドサイドマネジメント表彰  
応募要領

平成26年9月

一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター

## 1. 本表彰制度の目的

平成26年4月に施行された「改正省エネ法」や、同年4月に閣議決定された「エネルギー基本計画」を踏まえると、「電力負荷平準化」は、エネルギーの需給両面から引き続き長期的、総合的かつ計画的に講ずべき施策であり、省エネルギーの推進、地球温暖化防止などにも寄与する重要な施策であります。

本表彰制度は、電力負荷平準化について国民的理解を得るため、電力負荷平準化に資すると認められるシステム（機器を含む）（以下「電力負荷平準化システム」という。）を広く公募し、そのうち特に優れたものを表彰することにより、電力負荷平準化システムの一層の普及および社会への啓発を図ることを目的としています。

※電力負荷平準化に資する「デマンドサイドマネジメント表彰」は、平成26年度（第16回）まで実施していた「電力負荷平準化機器・システム表彰」を見直し、表彰対象の拡大および応募方法の一部を変更したものです。

## 2. 表彰対象および応募基準

表彰対象は電力負荷平準化システムとし、その応募基準は以下の条件を全て満たすこととします。

- ・電力負荷平準化に特に優れた効果があり、あわせて、省エネルギー性、先進性・創造性、市場性・経済性、環境保全性のあるもの。
- ・電力負荷平準化に寄与する先導的技術を広く周知させることが可能で、普及性のあるもの。
- ・応募時点で既に商品化されているかまたは研究開発済みで商品化の見込みのある、もしくは既に導入された電力負荷平準化システムであって、主として熱需要に対応するもの。

<電力負荷平準化に資するシステムの一例>

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・電力負荷平準化に寄与するヒートポンプ・蓄熱システム（既に商品化または商品化の見込みのあるもの）</li><li>・現場築造型のヒートポンプ・蓄熱システム</li><li>・再生可能エネルギー熱を利用したヒートポンプ、冷温水同時供給型ヒートポンプといった高度熱利用可能なヒートポンプ</li><li>・電力負荷平準化に寄与する制御（エネルギーマネジメントシステム、デマンド制御など）を組み込んだヒートポンプ・蓄熱システム</li></ul> |
|--|

注1：過去に「電力負荷平準化機器・システム表彰」または他の表彰制度等において受賞実績のある電力負荷平準化システムであっても、技術改良などにより、受賞実績件名と比較して機能、性能などの向上が見られるものは表彰対象とします。

注2：電力負荷平準化に寄与する制御（エネルギーマネジメントシステム、デマンド制御など）単体は、表彰対象としません。

## 3. 応募

### (1) 応募資格

- ・電力負荷平準化システム商品化及び導入・現場築造にかかわった個人または団体とします。

### (2) 応募方法

- ・添付の様式に従い、「応募予定票」（様式1）、「応募申請書」（様式2）を作成し、下記送付先にそれぞれ2部提出して下さい。まず、応募予定票を仮エントリーとして、先行して提出して下さい。
- ・応募予定票は、メールで提出頂いても結構です。

・応募申請書は、会社で応募される場合は代表者名で提出して下さい。（必ずしも代表取締役である必要はなく、本部長・事業部長などでも結構です）。なお、朱印押印は2部のうち1部のみでも結構です。

・応募申請書は、郵送、持参どちらでも結構ですが、郵送の場合は封筒に「表彰応募書類在中」と記し簡易書留で送付して下さい。なお、応募書類は返却しません。

・事務局から応募を受付けたことを確認する電子メールをお送りします。

### (3) 応募期間

・応募予定票の提出期間は、平成26年10月1日(水)～平成26年10月31日(金)です。

・応募申請書の提出期間は、平成26年11月4日(火)～平成26年12月19日(金)です。郵送、持参いずれの場合も最終日17:30必着とします。

### (4) 送付先／問合せ先

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-28-5 ヒューリック蛸殻町ビル6階

一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター

国際・技術研究部 西山 教之 (にしやま のりゆき)

TEL: 03-5643-2404 FAX: 03-5641-4501

E-mail: nishiyama.noriyuki@hptcj.or.jp

## 4. 審査の方法

応募書類の内容および応募者の応募資格については、学識経験者などで構成する審査委員会において審査します。

・審査にあたり、ヒアリング、現物調査などを行うことがあります。

・応募者の応募資格についても審査します。特に複数の申請者による共同応募の場合、全ての申請者が表彰対象とならない場合もあります。審査の内容については公表しません。

## 5. 表彰の方法

審査の結果、特に優秀と認められたものを

・経済産業省資源エネルギー庁長官賞（予定）

・一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター理事長賞

・一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター振興賞

として表彰し、それぞれ表彰盾を授与致します。表彰式は、平成27年6月頃に東京都内にて実施する予定です。なお、各賞とも表彰該当物件が無い場合もあります。

## 6. 広報

受賞した件名については、受賞内容を報道機関や自治体、関係団体に公表するとともに、一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センターによるセミナー等広報活動により、広く周知します。また、受賞者は、当該システムに受賞した旨の表示をすることができます。

## 7. その他

応募申請受付後に、本表彰事業の目的を損なうような行為、もしくは当該応募者に虚偽の記載等不正行為があった場合には、当該応募申請を無効とします。また、受賞決定後に、本表彰事業の目的を損なうような行為、もしくは当該応募者に応募虚偽の記載等不正行為が判明した場合には、受賞を取り消すことがあります。

以上

平成27年度 デマンドサイドマネジメント表彰  
 応募予定票

平成26年 月 日

一般財団法人 ヒートポンプ・蓄熱センター  
 会長 小宮山 宏 殿

(代表応募者) 住所 \_\_\_\_\_  
 事業者名 \_\_\_\_\_  
 代表者 (氏名) \_\_\_\_\_

平成27年度 デマンドサイドマネジメント表彰に下記の応募を予定しています。

応募件名 :

概要 : (応募内容を簡潔明瞭に記載して下さい。)

応募申請書提出時期:

連絡先 氏名 \_\_\_\_\_  
 部署、役職名 \_\_\_\_\_  
 TEL \_\_\_\_\_  
 FAX \_\_\_\_\_  
 E-mail \_\_\_\_\_

送付先 : 一般財団法人 ヒートポンプ・蓄熱センター

デマンドサイドマネジメント表彰事務局 担当 : 西山宛

E-mail: [nishiyama.noriyuki@hptci.or.jp](mailto:nishiyama.noriyuki@hptci.or.jp)

FAX: 03-5641-4501

受付年月日 : □ | 事務局記載 :  
 平成26年 月 日 |

平成27年度 デマンドサイドマネジメント表彰 応募申請書

平成26年 月 日

一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター  
理事長 小宮山 宏 殿

(申請者) 住所  
個人名/会社名等  
代表者名 (会社等で応募の場合) 印

(申請者) 住所  
個人名/会社名等  
代表者名 (会社等で応募の場合) 印

(申請者) 住所  
個人名/会社名等  
代表者名 (会社等で応募の場合) 印

「平成27年度 デマンドサイドマネジメント表彰」に下記のとおり応募申請します。

応募件名「  」
----------------

注) 申請者欄について、単独申請の場合は1カ所のみ記入して下さい。申請者が多い場合は、適宜欄を増やして下さい。

-----  
事務局記入欄

受付年月日 平成26年 月 日
番号

連絡先	申請会社名	
	担当者所属部署	
	担当者役職	
	担当者氏名	
	担当者連絡先住所	〒
	担当者TEL	
	担当者FAX	
	担当者E-mail	
会社概要（業種、創立年月、資本金、従業員数、主な生産品、事業内容等）		

連絡先	申請会社名	
	担当者所属部署	
	担当者役職	
	担当者氏名	
	担当者連絡先住所	〒
	担当者TEL	
	担当者FAX	
	担当者E-mail	
会社概要（業種、創立年月、資本金、従業員数、主な生産品、事業内容等）		

注) 連絡先・会社概要について、単独申請の場合は1カ所のみ記入して下さい。申請者が多い場合は、適宜欄を増やして下さい。  
個人で応募の場合は、担当者氏名～担当者E-mailの欄まで記入して下さい。

応募件名（以下「本件」という。）に係る各項目について記入して下さい。各項目のスペースは自由です。

1. 評価してもらいたいポイント（要点、200字程度）

2. 開発の目的

3. 本件の概要

概要に加えて外観・構造図を示して下さい。

4. 本件の特長

（1）電力負荷平準化効果

電力負荷平準化効果は数値的表現とし、その算出の考え方は下記の3パターンから適当なもの（複数可）を選択し、計算して下さい。ただし、算出にあたっての諸条件はすべて記載して下さい。

① 夜間移行率（年間または代表日）

夜間kWh / (昼間kWh + 夜間kWh)

② ピークカット率

応募システムを導入した場合としない場合のピークカット率

③ その他（独自計算方式）

（2）省エネルギー性

省エネルギー性は数値的表現とし、その算出の考え方は下記の4パターンから適当なもの（複数可）を選択し、計算して下さい。ただし、算出にあたっての諸条件はすべて記載して下さい。

① 蓄熱型システム

蓄熱時COP（夜間）

蓄熱利用COP（昼間）

全日COP

② 非蓄熱型システム

一次エネルギーCOP

③ 従来方式との比較による一次エネルギー削減率（年間または代表日）

④ その他（独自計算方式）

（3）先進性・創造性

先進性・創造性について記述して下さい。

#### (4) 普及性

普及性について記述して下さい。

#### (5) 市場性・経済性

経済性は数値的表現とし、その算出の考え方は下記の4パターンから適当なもの(複数可)を選択し、計算して下さい。ただし、算出にあたっての諸条件はすべて記載して下さい。

##### ① 投資回収年

比較対象は従来システムとする。

##### ② 単位床面積あたりのイニシャルコスト、ランニングコスト

イニシャルコスト 円/㎡

ランニングコスト 円/年㎡

##### ③ ランニングコストにおける従来システムとの比較

ランニングコスト %減

##### ④ その他(独自計算方式)

#### (6) 環境保全性

環境保全性はCO<sub>2</sub>、NO<sub>x</sub>、SO<sub>x</sub>について数値的表現とし、その算出の考え方は下記の3パターンから適当なもの(複数可)を選択し、計算して下さい。使用する原単位は応募者が設定することを前提としますが、算出にあたっての諸条件はすべて記載して下さい。

##### ① システムを適用する建物を想定して、1年間の排出量を計算する。

kg・C/年㎡      kg・NO<sub>x</sub>/年㎡      kg・SO<sub>x</sub>/年㎡

##### ② ピーク期間の1日を想定して、定格稼働日の排出量を計算する。

kg・C/日RT      kg・NO<sub>x</sub>/日RT      kg・SO<sub>x</sub>/日RT

##### ③ その他(独自計算方式)

#### 5. 各申請者の貢献

複数の申請者による共同応募の場合、本件を開発するにあたって、それぞれの申請者が果たした役割を記述して下さい。単独応募の場合は記載不要です。

#### 6. その他

##### ① 知的財産権の取得状況(国内、国外を問わず取得済みおよび申請中のもの)

##### ② 文献等の発表状況(文献名、発表年月日など)

##### ③ 受賞歴の有無(表彰を受けた機関、団体名、年月日、表彰種類など)

##### ④ 市場性および販売状況(適応市場の規模、競合品との比較、販売実績のあるものは販売開始年月日・国内外販売実績など)

##### ⑤ ユーザーの意見(応募システムに対するユーザーの意見などがあれば自由記述する。)

以上



平成27年度 デマンドサイドマネジメント表彰  
応募要領

発行 一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター  
〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目28番5号  
ヒューリック蛸殻町ビル6階  
TEL(03)5643-2401(代表) FAX(03)5641-4501  
平成26年9月